SONG for you!

Business Report

第144期

平成20年4月1日～平成21年3月31日

塩野義製薬株式会社

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社の第144期（2008年度）の事業概況をご報告申し上げるにあたり、この間に株主の皆さまから賜りましたご協力、ご支援に対しまして、厚く御礼申し上げます。

2008年度は、当社グループにとりまして、これまでのグローバル化に向けた一連の取り組みをより確実なものとする上で非常に重要な年となりました。

製薬企業にとって、海外展開を進めるためには、自社製品をグローバルに継続的に上市していくことが不可欠となります。当社では、ここ数年の研究開発活動における努力が成果となって表れつつあり、自社で創出した開発化合物が充実してまいりました。また、米国での肥満症治療薬の後期第二相臨床試験の完了など、グローバルな開発活動も自らの力で順調に進展できるようになってまいりました。

こうした良好な新薬の研究開発の状況を踏まえまして、より積極的な海外展開を図るため、昨年10月にSciele Pharma, Inc.を買収いたしました。Sciele Pharma社は、米国において今後数年間は独力での成長を期待できる販売力を有しており、当社グループの今後の米国展開におきまして、中核的な役割を果たすものと期待しております。

国内の研究開発活動におきましても、2008年度には高血圧症治療薬「イルベタン」や外用尋常性ざ瘡（ニキビ）治療薬「ディフェリンゲル」、特発性肺線維症治療薬「ピレスパ」という、3製品の上市を果たしました。これらの新製品の発売によりまして、第二次中期経営計画の期間において目標としている新製品10品目の上市のうち、9品目の上市を達成することができました。また、自社創製の化合物として新たに3品目の臨床試験を開始するなど、開発パイプラインも充実させることができました。

国内の販売面におきましては、医療費抑制に向けた国の諸施策が実施されるなど、厳しい市場環境が続いておりますが、高コレステロール血症治療薬「クレストール」や昨年発売された新製品などを中心とした成長余力の高い製品へリソースを集中することにより、成長を継続できるよう取り組んでおります。

当期の業績は、アストラゼネカ社に導出している「クレストール」の工業所有権等使用料収入の継続的な拡大やSciele Pharma社の連結子会社化により増収となりましたが、収益面では、同社の買収に伴う企業結合会計による一過性の費用増の影響などにより減益となりました。

当期における海外および国内での様々な取り組みは、今後の当社グループの継続的な発展に大きく貢献するものと確信しております。

なお、当期の期末配当金は、1株当たり14円を実施させていただきます。これにより1株当たりの年間配当金は28円で、前年に比べ6円の増配となります。

配当を中心とした株主還元につきましては、今後とも業績の拡大とともに安定的に向上させてまいる所存であります。

株主の皆さまには、当社の事業活動にご理解をいただき、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長
塩野元三

代表取締役社長
手代木功

経営理念

シオノギの基本方針

「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」

シオノギの行動方針

シオノギの基本方針（シオノギの心）を、具現化するためのものです

ミッション……

患者・家族の方々のQOL向上を実現するために、患者・家族・医療従事者の方々により一層満足度の高い医薬品をお届けする

私たちは基本方針に掲げる「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という理念に基づき、「患者・家族の方々のQOL向上を実現するために、患者・家族・医療従事者の方々により一層満足度の高い医薬品をお届けする」ことをミッションとし、以下の活動を通じてその具現化に専念します。

独創的な医薬品を創製し、必要としている人々に一刻も早くお届けします。

必要としている人々の声を速やかに製品に反映し、高い品質の医薬品を、安定的,経済的に製造・供給します。

適正使用に必要な情報を適時的確に提供し、医薬品の有用性をますます高めます。

ビジョン……

存在感のある強いシオノギ
私たち自身がやりがい, 誇り, 夢の持てるシオノギ

私たちは、私たちのミッション実現のため、世界中で患者・家族・医療従事者の方々や社会に認められる事業展開を行なう「存在感のある強いシオノギ」であるとともに、「私たち自身がやりがい, 誇り, 夢の持てるシオノギ」であることを目指し、第2次中期経営計画を達成します。

バリュー……

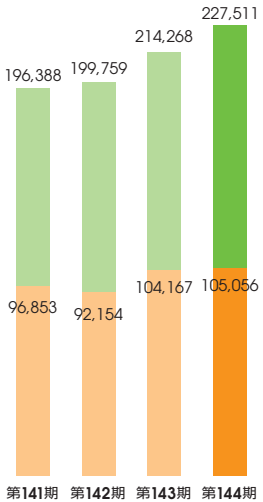
顧客志向、信頼、プロフェッショナル、現場重視、個の尊重

私たちは、私たちのミッション,ビジョンを実現するために、上記の5つの点を最も重要な行動規範とすることを決意しました。

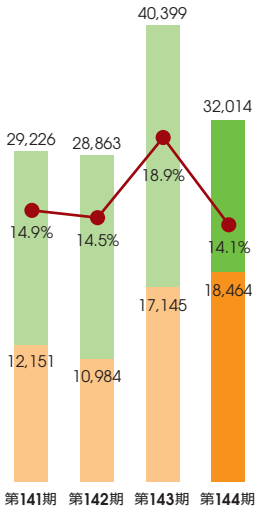
この5つの誓い（シオノギバリュー）を、高い倫理観をもって実行することにより、人々の共感を得る会社でありつづけたいと思います。

連結財務指標

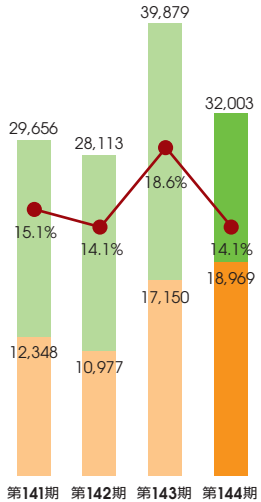
◆売上高



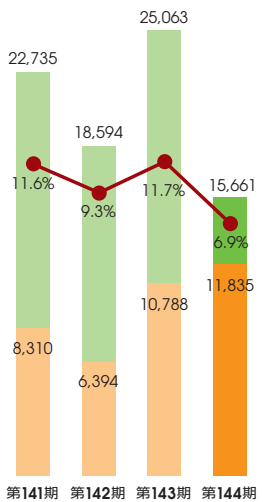
◆営業利益



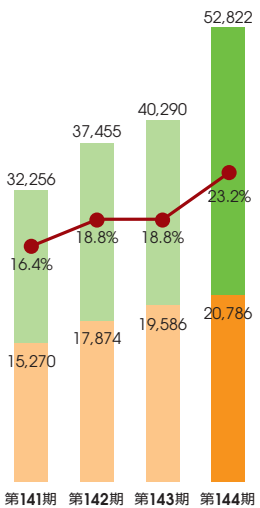
◆経常利益



◆当期純利益



◆研究開発費



単位：百万円
年間
第2四半期（累計）
売上高に対する比率

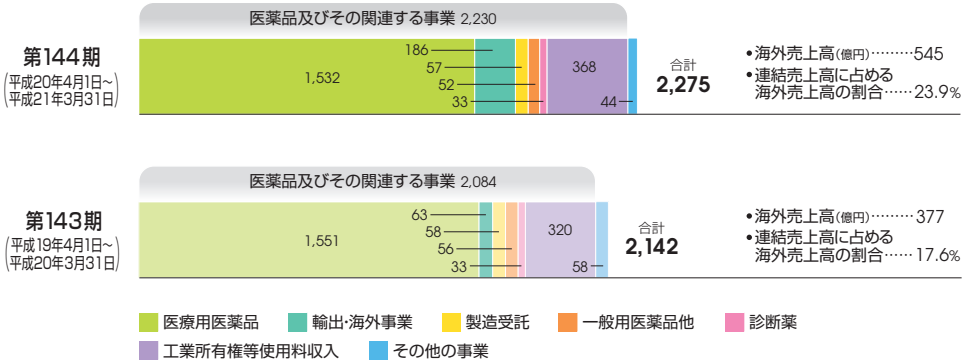
当期の概況

販売の状況

当期の売上高は2,275億1千1百万円で、前期に比べ6.2%の増加となりました。

主力の医療用医薬品の売上は、「クレストール」やがん疼痛治療薬が拡大し、「イルベタン」などの新製品が寄与する一方で、競合品の上市や薬価改定などの影響を受け、医療用医薬品の売上高は減少しました。一方、アストラゼネカ社による海外での「クレストール」の販売拡大により工業所有権等使用料収入が増加したほか、ジョンソン・エンド・ジョンソン社向け「輸出用ドリペネム」の増加やサイエル社の連結子会社化により輸出・海外事業が大きく増加しました。

◆事業の種類別売上高 (単位:億円)

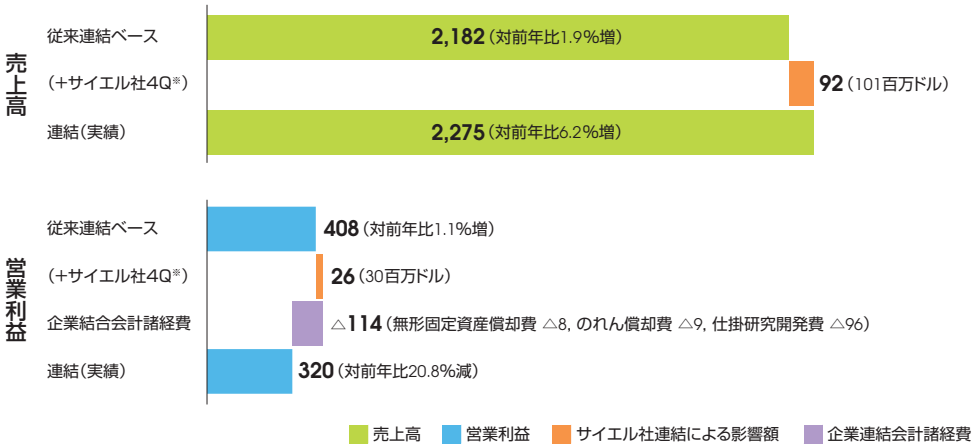


利益の状況

工業所有権等使用料収入の増加やサイエル社の連結子会社化により売上総利益は拡大しましたが、買収に伴う企業結合会計の費用処理により研究開発費や販売費及び一般管理費が大幅に増加したため、営業利益は320億1千4百万円で前期に比べ20.8%の減、経常利益も320億3百万円で前期に比べ19.7%の減となりました。また、当期純利益は前期に比べ37.5%減の156億6千1百万円となりました。

なお、企業結合会計の影響やサイエル社の業績を除いた従来ベースの連結業績は、売上高が前期に比べ1.9%増、営業利益が1.1%増、経常利益が2.0%増、当期純利益は0.1%減という結果でした。

◆サイエル社買収の影響 (単位:億円)



※:サイエル社の第4四半期(2008年10〜12月)

研究開発の状況

国内では、高血圧症治療薬「イルベタン」、外用尋常性ざ瘡（ニキビ）治療薬「ディフェリンゲル」、特発性肺線維症治療薬「ピレスパ」と年間3品目の上市を達成いたしました。また、昨年1月に抗うつ薬（一般名：塩酸デュロキセチン）の製造販売承認申請を実施しております。

現在、海外も含めて、肥満症治療薬、抗インフルエンザ薬、抗HIV薬、アトピー性皮膚炎治療薬などの開発を進めております。昨年5月には、北海道大学との共同研究施設「シオノギ創薬イノベーションセンター」を開設し、さらなる創薬シーズの発見とグローバルに通用する創薬基盤技術の強化が期待されます。

こうした活動の結果、当期における当社グループ全体の研究開発費は、528億2千2百万円となり、売上高に対する比率は23.2%となりました。なお、サイエル社の買収に伴う企業結合会計の処理として仕掛研究開発費96億6千9百万円を当期の研究開発費に含めて処理しております。

◆新製品

2008年　7月 発売	**イルベタン®錠50mg, 100mg** 高血圧症治療薬
2008年 10月 発売	**ディフェリン®ゲル 0.1%** 外用尋常性ざ瘡（ニキビ）治療薬
2008年 12月 発売	**ピレスパ®錠200mg** 特発性肺線維症治療薬

設備投資について

摂津工場における新固形製剤包装棟の建設を始めとする製造設備や研究設備の拡充などを中心として積極的に投資を行っており、当期における当社グループ全体の設備投資額は、総額108億円となっております。

◆新薬開発状況（平成21年5月現在）

開発No.	適応症	開発地域	ステージ：フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請中	承認
LY248686	うつ	日本				2008.1	
LY248686	糖尿病性神経因性疼痛	日本					
S-4661	各種細菌感染症（小児）	日本					
S-4661	重症感染症（用法・用量追加）	日本					
S-021812	インフルエンザ感染症	日本※					
S-811717	各種癌における疼痛	日本					
S-2367	肥満症	米国					
S-013420	細菌感染症	日本					
NS75B	前立腺肥大症	日本					
S-349572	HIV感染症	米国					
S-265744/S-247303	HIV感染症	米国					
S-777469	アトピー性皮膚炎	日本					
S-777469	アトピー性皮膚炎	米国					
S-0139	脳血管障害	日本					
S-0139	脳血管障害	欧州					
S-888711	血小板減少症	日本					
S-888711	血小板減少症	米国					
S-297995	オピオイド投与に伴う消化器症状	日本					
S-555739	アレルギー疾患	日本					
S-555739	アレルギー疾患	欧州					
S-444823	アトピー性皮膚炎	日本					
S-222611	悪性腫瘍	欧州					

※フェーズⅢはアジア共同試験

◆サイエル社のパイプライン（平成21年5月現在）

製品品目	適応症	発売予定時期：2009 1Q	2009 2Q	2009 3Q	2009 4Q	2010	2011 2012
PrandiMet	2型糖尿病	2009.1発売					
ベンジルアルコール 5%ローション	頭じらみ			2009.4承認			
Prenate DHA	妊婦用DHAビタミン						
Clonidine XR	高血圧						
グリコピロレート	流涎症						
エピネフリン 自己注射剤	アナフィラキシー						
Clonicel	注意欠陥多動性障害（ADHD）						
PravaFen	脂質異常症および高トリグリセライド血症						
Prenate Elite	妊婦用ビタミン						
PSD502	早漏						
ADX415	高血圧						

決算の概要

連結損益計算書

科　目	第144期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）金　額（百万円）	第143期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）金　額（百万円）	増減額 金　額（百万円）
売上高	**227,511**	**214,268**	**13,243**
売上原価	**70,928**	**68,594**	**2,334**
売上総利益	**156,582**	**145,674**	**10,908**
販売費及び一般管理費	**124,568**	**105,275**	**19,293**
（うち研究開発費）	（52,822）	（40,290）	（12,532）
営業利益	**32,014**	**40,399**	**△ 8,385**
営業外収益	**3,343**	**3,530**	**△ 187**
受取利息	1,072	1,347	△ 275
受取配当金	1,263	1,045	218
受取ロイヤリティー	426	128	298
その他	581	1,008	△ 427
営業外費用	**3,354**	**4,050**	**△ 696**
支払利息	701	83	618
寄付金	1,248	1,374	△ 126
たな卸資産処分損	—	869	△ 869
固定資産処分損	426	880	△ 454
その他	977	842	135
経常利益	**32,003**	**39,879**	**△ 7,876**
特別利益	**213**	**1,319**	**△ 1,106**
投資有価証券売却益	213	276	△ 63
投資有価証券交換益	—	1,043	△ 1,043
特別損失	**1,430**	**1,236**	**194**
特別契約金	700	—	700
特別退職金	362	—	362
災害による損失	253	—	253
たな卸資産評価損	89	—	89
投資有価証券売却損	25	25	0
たな卸資産処分損	—	796	△ 796
投資有価証券評価損	—	414	△ 414
税金等調整前当期純利益	**30,785**	**39,962**	**△ 9,177**
法人税、住民税及び事業税	**14,717**	**11,765**	**2,952**
法人税等調整額	**369**	**3,106**	**△ 2,737**
少数株主利益	**37**	**26**	**11**
当期純利益	**15,661**	**25,063**	**△ 9,402**

連結貸借対照表

科　目	第144期（平成21年3月31日現在）金　額（百万円）	第143期（平成20年3月31日現在）金　額（百万円）	増減額 金　額（百万円）
【資産の部】			
流動資産	202,724	194,963	7,761
固定資産	299,128	218,739	80,389
有形固定資産	71,811	70,377	1,434
無形固定資産	120,388	5,618	114,770
投資その他の資産	106,928	142,744	△ 35,816
資産合計	501,852	413,703	88,149
【負債の部】			
流動負債	76,804	42,443	34,361
固定負債	114,954	29,024	85,930
負債合計	191,759	71,468	120,291
【純資産の部】			
株主資本	326,616	320,038	6,578
資本金	21,279	21,279	0
資本剰余金	20,227	20,227	0
利益剰余金	304,761	297,811	6,950
自己株式	△ 19,652	△ 19,280	△ 372
評価・換算差額等	△ 16,980	21,889	△ 38,869
その他有価証券評価差額金	8,207	22,068	△ 13,861
為替換算調整勘定	△ 25,188	△ 178	△ 25,010
少数株主持分	458	307	151
純資産合計	310,093	342,235	△ 32,142
負債純資産合計	501,852	413,703	88,149

（注）有形固定資産の減価償却累計額　172,405百万円　164,529百万円

連結キャッシュ・フロー計算書

科　目	第144期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）金　額（百万円）	第143期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）金　額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー	**29,120**	**15,618**
税金等調整前当期純利益	30,785	39,962
減価償却費	13,468	10,665
のれん償却額	906	—
仕掛研究開発費	9,669	—
資産・負債等	△ 13,177	△ 23,423
法人税等の支払額	△ 12,531	△ 11,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 149,055**	**△ 5,335**
定期預金の払戻・預入	△ 138	9,714
有形固定資産の取得・売却	△ 11,138	△ 11,638
投資有価証券の取得・売却	14,840	△ 2,324
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 146,766	—
その他	△ 5,853	△ 1,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	**105,293**	**△ 17,123**
配当金の支払額	△ 8,701	△ 6,114
借入・返済	114,253	△ 802
自己株式の取得による支出	△ 371	△ 10,204
その他	112	△ 3
現金及び現金同等物に係る換算差額	**△ 1,430**	**△ 95**
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	**△16,073**	**△ 6,936**
現金及び現金同等物の期首残高	**67,609**	**74,546**
現金及び現金同等物の期末残高	**51,536**	**67,609**

損益計算書

科　目	第144期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）金　額（百万円）	第143期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）金　額（百万円）	増減額 金　額（百万円）
売上高	**206,753**	**201,002**	**5,751**
営業利益	**36,236**	**36,397**	**△ 161**
経常利益	**37,924**	**37,240**	**684**
当期純利益	**23,863**	**22,479**	**1,384**

キャッシュ・フローの状況

当期の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前当期純利益が前期より減少しましたが、減価償却費やサイエル社買収に伴う仕掛研究開発費などの非資金取引の費用の増加もあったため、291億2千万円のプラスとなりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、サイエル社の取得による支出や設備投資などにより、1,490億5千5百万円のマイナスとなりました。

また、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、サイエル社取得のための借入などにより、1,052億9千3百万円のプラスとなりました。

この結果、当期末の「現金及び現金同等物の期末残高」は、前期末に比べ160億7千3百万円少ない515億3千6百万円となりました。

次期の見通し

今後も主力の医療用医薬品市場はより一層厳しい販売環境に推移するものと予想されますが、「クレストール」「イルベタン」を中心とした販売の拡大を引き続き見込んでおります。また、サイエル社の売上が通期で寄与すること、工業所有権等使用料収入の増加が引き続き期待されることから、全体としましては増収を見込んでおります。

利益面では、研究開発費の増加が予想されますが、サイエル社買収に伴う仕掛研究開発費の発生がなくなること、連結子会社となったサイエル社の利益が通年で寄与してくること、工業所有権等使用料収入の増加などにより、営業利益、経常利益、当期純利益とも大幅な増益を見込んでおります。

◆次期の見通し

連結		
売　上　高	2,840億円	（前期比　24.8%増）
営業利益	600億円	（前期比　87.4%増）
経常利益	580億円	（前期比　81.2%増）
当期純利益	350億円	（前期比　123.5%増）

利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的な視点での企業価値の増大を図るため、事業投資を積極的に行うとともに、配当につきましては、各期の業績に応じた配分を基本におきながら、これを安定的に向上させることを目指しております。

なお、今後の配当性向につきましては、平成21年度（平成22年3月期）において35%（連結配当性向）を目標といたします。

研究開発の取り組み

「Ezose Sciences, Inc.」を設立しました

当社は高品質の新薬を創製し、お薬を必要とする患者さまのもとへ確実にお届けできるよう、世界トップレベルの臨床試験の成功確率を目指した創薬技術の構築に着手しています。まずは、住友ベークライト株式会社との共同出資により、糖鎖解析技術子会社「Ezose Sciences, Inc.」を米国に設立しました。糖鎖解析の受託ビジネスを展開するとともに、病態の高精度な解析に威力を発揮するバイオマーカーの探索を進めています。さらに、大阪大学と共同で「大阪大学分子イメージングセンター（仮称）」を設立し、分子イメージング技術を応用した、非臨床から臨床への橋渡し研究を推進していきます。

一方で、国際競争力を持った開発品を継続的に創製するため、外部の研究機関との共同研究にも積極的に取り組んでいます。2008年5月には、北海道大学構内に自社の研究施設「シオノギ創薬イノベーションセンター」を開設し、北海道大学が持つ膨大な研究シーズを創薬につなげる試みを開始しました。また、国内の研究機関からシオノギのニーズにマッチした独創的な研究シーズを公募する「シオノギ創薬イノベーションコンペ（FINDS）」を2007年から実施し、今年で3回目を迎えます。今後も産学の連携に基づいた、新たなシーズ発掘に挑戦していきます。

これからも、シオノギの基本方針であります「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」ことをグローバルに実現できるよう、注力してまいります。

生産の取り組み

「新固形製剤包装棟」を竣工しました

2008年11月、摂津工場におきまして「新固形製剤包装棟」を竣工しました。この施設では、治験薬製造から商用生産までを1棟で完結することができ、そのフレキシビリティとパフォーマンスを有効活用することで、治験のクオリティの向上と新製品上市のスピードアップに大いに貢献することが期待されます。加えて、グローバルに対応できる製造設備および品質保証システムにより、日本国内のみならずグローバルへの製品供給が可能です。

また、金ケ崎工場におきましても、海外向けに出荷している「輸出用ドリペネム」のグローバルな販売拡大に対応できるよう生産設備の増強を行い、欧米当局の査察を受け、高い評価を得ました。

シオノギは、日本国内だけでなく世界中の患者さまに貢献できるよう、生産設備・体制や品質保証システム整備のグローバル化を着実に進めてまいります。

セデスのパッケージをリニューアル

この春より、4つのセデスのパッケージが新しくなりました。

従来のカラーを踏襲し、新セデス錠はブルー、セデス・ハイはシルバー、セデスVはパールホワイト、セデスキュアはピンクをベースにしています。また、セデスブランドとしての訴求力を高めるため、今回のリニューアルではパッケージのデザインやサイズを統一しました。

シオノギは、皆さま一人ひとりの痛みの緩和に貢献できるよう、これからも取り組んでまいります。

株式の概況（平成21年3月31日現在）

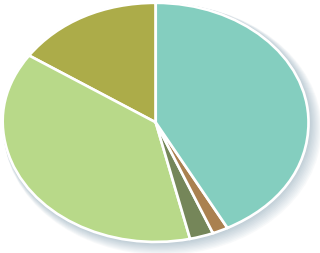
◆株式の状況

- 発行可能株式総数　1,000,000,000株
- 発行済株式の総数　351,136,165株
- 株主数　20,353名
- 株主1人当たり平均持株数　17,252株
- 大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
1 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	21,828	6.22
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	19,858	5.66
3 住友生命保険相互会社	18,604	5.30
4 THE CHASE MANHATTAN BANK, N. A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	17,191	4.90
5 塩野義製薬株式会社	16,189	4.61
6 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4G）	14,930	4.25
7 日本生命保険相互会社	13,138	3.74
8 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口）	9,485	2.70
9 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	8,385	2.39
10 日本興亜損害保険株式会社	7,551	2.15

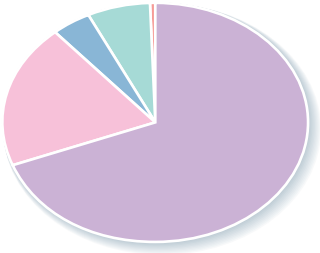
◆株式の分布状況

＜ 所有者別株式分布 ＞



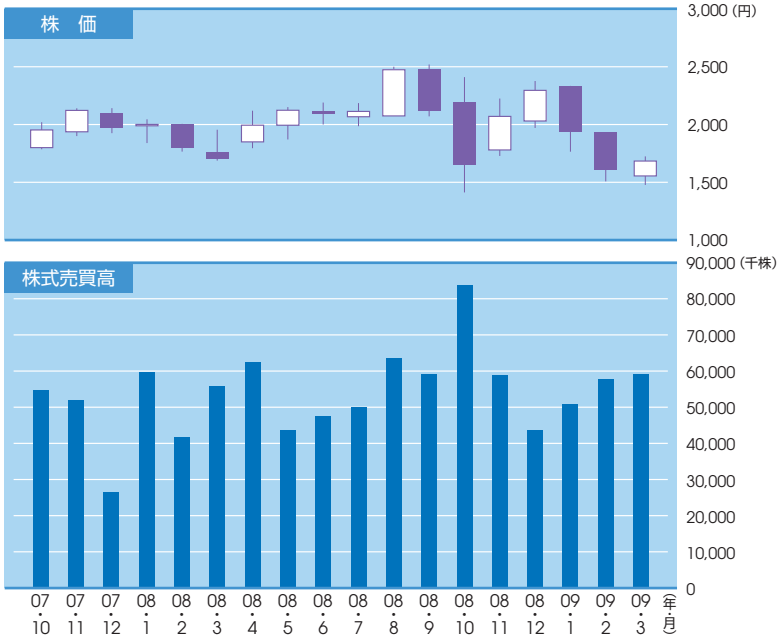
金融機関	42.32%
証券会社	1.78%
その他の法人	2.48%
外国法人等	38.02%
個人その他	15.40%

＜ 所有数別株式分布 ＞



1,000千株以上	69.44%
100千株以上	19.24%
10千株以上	4.36%
1千株以上	6.57%
1千株未満	0.39%

◆株価および株式売買高の推移



概　要（平成21年3月31日現在）

会社の概要

商　　号	塩野義製薬株式会社 （SHIONOGI & CO., LTD.）
創　　業	1878年（明治11年）3月17日
会社設立	1919年（大正8年）6月5日
決　算　期	3月31日
事業内容	医薬品、診断薬などの製造・販売
資　本　金	212億79百万円
従業員数（連結）	6,010名

http://www.shionogi.co.jp/

役員（平成21年6月25日現在）

取締役

代表取締役会長	塩野　元三
代表取締役社長	手代木　功
取締役	戸梶　幸夫
取締役	三野　泰宏
取締役（社外）	野村　明雄
取締役（社外）	茂木　鉄平

監査役

常勤監査役	大谷　光昭
常勤監査役	小松　聰司
監査役（社外）	永田　武全
監査役（社外）	横山　進一

執行役員

専務執行役員	戸梶　幸夫
専務執行役員	三野　泰宏
常務執行役員	福田　卓雄
常務執行役員	久米　龍一
執行役員	近藤　裕郷
執行役員	澤田　拓子
執行役員	真下　重信
執行役員	五島　正光
執行役員	加茂谷　佳明

事業所 （平成21年3月31日現在）

本　社

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
Tel 06-6202-2161

支　店

東京支店
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号
シオノギ渋谷ビル
Tel 03-3406-8111

名古屋支店
〒460-0004 名古屋市中区新栄町2丁目9番地
スカイオアシス栄
Tel 052-957-8271

福岡支店
〒810-0072 福岡市中央区長浜1丁目1番35号
新KBCビル
Tel 092-737-7750

札幌支店
〒064-0807 札幌市中央区南七条西1丁目13番地
第3弘安ビル
Tel 011-530-0360

研究所

中央研究所
〒553-0002 大阪市福島区鷺州5丁目12番4号
Tel 06-6458-5861

新薬研究所
〒561-0825 豊中市二葉町3丁目1番1号
Tel 06-6331-8081

医科学研究所
〒566-0022 摂津市三島2丁目5番1号
Tel 06-6382-2612

油日ラボラトリーズ
〒520-3423 甲賀市甲賀町五反田1405番地
Tel 0748-88-3281

工　場

摂津工場
〒566-0022 摂津市三島2丁目5番1号
Tel 06-6381-7341

金ケ崎工場
〒029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山7番地
Tel 0197-44-5121

事業所

杭瀬事業所
〒660-0813 尼崎市杭瀬寺島2丁目1番3号
Tel 06-6401-1221

物流センター

シオノギ物流センター
〒566-0022 摂津市三島2丁目5番1号
Tel 06-6381-7342

シオノギ東京物流センター
〒270-0233 野田市船形字上原壱1513番地
中央運輸株式会社 野田営業所内
Tel 04-7127-3000

海　外 （事業所・関係会社）

Shionogi & Co., Ltd.
Taipei Office
4F, No. 2, Sec. 2, Nanking East Road
Taipei 10457, Taiwan
Tel +886-2-2551-6336

Shionogi & Co., Ltd.
Shanghai Office
Far East International Plaza 3F, 306A
No. 319 Xian Xia Road
Shanghai 200051
People's Republic of China
Tel +86-21-6235-1311

Taiwan Shionogi & Co., Ltd.
4F, No. 2, Sec. 2, Nanking East Road
Taipei 10457, Taiwan
Tel +886-2-2551-6336

Shionogi USA, Inc.
100 Campus Drive, Florham Park
NJ 07932, U.S.A.
Tel +1-973-966-6900

Sciele Pharma, Inc.
5 Concourse Parkway Suite1800
Atlanta, GA 30328, U.S.A.
Tel +1-800-461-3696

株主メモ

◇事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
◇定時株主総会	6月
◇基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
◇単元株式数	1,000株
◇公告掲載方法	電子公告　当社インターネットホームページ（http://www.shionogi.co.jp/）に掲載しています。
◇上場証券取引所	東京・大阪
◇証券コード	4507
◇株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	住友信託銀行株式会社　（大阪市中央区北浜四丁目5番33号）
◇株主名簿管理人事務取扱場所	住友信託銀行株式会社　証券代行部　（大阪市中央区北浜四丁目5番33号）
（郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-176-417
（インターネットホームページ）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

≪株券電子化に関するお知らせ≫

◆ 平成21年1月5日（月）に上場会社の株券電子化が実施されました。

◆ 株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお届出およびご照会先は、以下のとおりとなっております。

「証券保管振替制度」をご利用の株主様	株主様が口座を開設されている証券会社等
「証券保管振替制度」をご利用でない株主様	当社が「特別口座」を開設した住友信託銀行 （ご照会は上記の電話照会先にお願いいたします。）

≪単元未満株式の買取手数料の無料化について≫

ご負担いただいておりました手数料を平成21年1月5日（月）以降のご請求から無料（証券会社等の手数料を除く。）といたしておりますので、単元未満株式の買取制度のご利用をご検討くださいますよう ご案内申しあげます。
お手続きの詳細は、上記「株主名簿管理人」または「株主様が口座を開設されている証券会社」までお問合せください。

FSC ミックス品
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-001508
© 1996 Forest Stewardship Council